

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	新興・再興感染症研究拠点形成プログラム	事業開始年度	平成17年度			作成責任者
担当部局庁	研究振興局	担当課室	研究振興戦略官付			研究振興戦略官 渡辺 正実
会計区分	一般会計	上位政策	ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 科学技術外交の強化に向けて(平成20年5月総合科 学技術会議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	新型インフルエンザなど、依然として社会不安が払拭されないウイルスだけでなく、SARSやエボラウイルスなど、万が一我が国に流入してきた場合に甚大な被害を与え得る病原体を含めた新興・再興感染症に関し、我が国に基礎的知見を蓄積し、緊急時にも即戦力として活躍できる研究人材の確保、将来にわたって本分野で活躍することができる研究者の育成を図ることを目指す。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	アジア・アフリカの新興・再興感染症の発生国あるいは発生が想定される国に、現地研究機関との協力の下、海外研究拠点を設置するとともに、国内の体制を整備し、感染症対策を支える基礎研究を集中的・継続的に進め、知見の集積・人材育成等を図る。					
実施状況	アジア・アフリカの8カ国(※)に海外研究拠点を開設し、各研究機関等の連携と協力により、幅広い領域の専門家が一体となって研究体制を構築し、現地研究者・専門家と共に研究を進めている。 平成21年度に、科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会ライフサイエンス委員会において評価を行い、アジア・アフリカの8カ国に海外研究拠点を整備し、かつてない研究体制を構築したことが高く評価された。 現在、永続的な研究体制の構築を目指して、平成22年度より「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム」(J-GRID)として事業を発展的に継続している。 (※)中国、タイ、ベトナム、フィリピン、インド、インドネシア、ザンビア、ガーナ					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,750	2,500	2,064	1,900	1,800
	執行額	2,677	2,461	2,064		
	執行率	97.3%	98.4%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	2,677	2,461	2,064		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	○毎年度現地における額の確定作業において実績報告書等の確認を行うとともに、必要に応じて状況調査を行うことにより、支出先・用途を具体的に把握している。				
	見直しの余地	○昨年の事業仕分けの結果も踏まえ、厚生労働省や国立感染症研究所等の感染症研究を行っている他の機関との役割分担を明確化・透明化すべき。 ○その上で、海外研究拠点同士のネットワークを強化することにより、プログラム全体をひとつの組織として機能させるとともに、厚生労働省、国立感染症研究所等の国内の関係機関、WHO、仏パスツール研究所等の国外の研究機関との連携を強化し、大学の研究能力を最大限活用することで、効率的・効果的な事業運営に努めるべき。				
予算・監視・所効見率化	1. 事業評価の観点:この事業は、新興・再興感染症に関する海外研究拠点の構築などにより、研究人材の育成等を行う競争的資金である。 2. 所見:この事業は、平成22年度から「感染症研究国際ネットワーク推進プログラム」として、昨年11月の事業仕分け等も踏まえて第2期のプログラムを開始したところであるが、各拠点に運営ノウハウが蓄積されてきたことから、運営サポートに係る経費の効率化を図るなど、予算を縮減すべきである。また、「平成23年度科学・技術重要施策アクション・プラン」に沿って資金の使用ルール等の統一化及び簡素化・合理化を進めるなど、研究者にとって使いやすく、かつ、国費が有効に使われるような事業にしていくべきである。					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

文部科学省  
2,064百万円

非常勤職員手当	4.5百万円	} を含む
諸謝金	0.6百万円	
職員旅費	0.1百万円	
外国旅費	1.3百万円	
委員等旅費	0.6百万円	

感染症研究拠点・拠点活用型  
研究課題を審査・選定し、マネジ  
メントを実施

【公募等・委託】

A:新興・再興感染症研究拠点形成プロ  
グラム  
支出総額:2,057百万円  
大学等(全28機関)

アジア・アフリカ8か国に海外研究拠点を設置し、感  
染症対策に資する知見の集積・人材育成等を実施。

A. 東京大学					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員	92			
業務実施費	消耗品(実験動物類、理化学機材類、薬品類等)	60			
	外国旅費(中国拠点への移動費)	45			
	借損料(高圧蒸気滅菌機リース料)	29			
設備備品費	核酸精製装置	4			
間接経費		81			
その他	雑役務、外国人等招へい旅費、印刷製本費	38			
計		349	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

## 「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

### A: 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム

	支出先	支出額(百万円)
1	国立大学法人東京大学	349
2	国立大学法人大阪大学	331
3	国立大学法人長崎大学	255
4	独立行政法人理化学研究所	203
5	国立大学法人北海道大学	196
6	国立大学法人神戸大学	112
7	国立大学法人岡山大学	106
8	国立大学法人東北大学	103
9	国立大学法人東京医科歯科大学	81
10	国立大学法人大阪大学	10
⋮	その他	311
合計		2,057